

形成外科専門医研修ネットワークプログラム (聖隷浜松病院)

1 はじめに

聖隷浜松病院形成外科研修プログラムの特徴は、市中病院を基幹病院とした形成外科研修であることです。外勤などは基本的にありませんので、一つ一つの症例にじっくりと取り組むことができます。特色のある関連病院を擁しており、先天異常から外傷、再建、創傷治療などを幅広く学習することができます。また昭和医科大学形成外科・東京大学形成外科千葉大学形成外科・浜松医科大学形成外科とも連携しており、市中病院に拠点をおきながら、大学での専門的研修を選択することも可能です。

アットホームな雰囲気、楽しく形成外科専門医を目指していきましょう。



プログラム責任者 聖隷浜松病院 微小血管外科部長 向田 雅司

2 目的

形成外科専門医制度は、形成外科専門医として有すべき診断能力の水準と認定のプロセスを明示するものであり、専門研修プログラムは医師として必要な基本的診断能力（コアコンピテンシー）と形成外科領域の専門的能力、社会性、倫理性を備えた形成外科専門医を育成することを目的としています。

3 特徴

- ・外傷、先天異常、腫瘍、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、難治性潰瘍、炎症・変性疾患、美容外科などについて研修することができます。
- ・研修の一部には臨床系大学院を組み入れることもできます。
- ・Subspecialty 領域専門医の研修準備をすることもできます。
- ・プログラム終了後には専門知識と診療技術を習得し、他の診療科とのチーム医療を実践できる能力を備えるとともに社会性と高い倫理性を持った形成外科専門医となります。

4 研修病院群 研修指定病院

聖隷浜松病院、山梨県立中央病院、浜松赤十字病院、沼津市立病院、藤枝市立総合病院、西尾市民病院、昭和医科大学藤が丘病院、東京大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院
山梨赤十字病院（研修連携候補施設）

5 専攻医受入数

2名（各学年）

6 研修期間

形成外科領域専門研修カリキュラムでは、到達目標の達成時期や症例数を1年次から4年次まで項目別で設定しています。しかし実際には、各施設の症例数や人事異動などでその時期が前後すると予測されます。そのため、設定した年次はあくまで目安であり、4年次までにすべての到達目標を達成することを最終目標とした上で、基幹施設と連携施設で連携しながら専門研修コースを設定していく必要があります。

7 研修計画（例）

最低1年間の基幹病院（聖隷浜松病院）での研修を必要とします。それぞれの施設には取り扱う疾患の分野にばらつきがあるため、不足分を補うように病院間での異動を行っていきます。

（例）

- 1年目 聖隷浜松病院 形成外科 1年
- 2年目 昭和医科大学藤が丘病院 形成外科 12ヶ月
- 3年目 山梨県立中央病院 形成外科 12ヶ月
- 4年目 聖隷浜松病院 形成外科 12ヶ月

研修カリキュラム

形成外科領域専門研修カリキュラムでは、到達目標の達成時期や症例数を1年次から4年次まで項目別で設定しています。

I 専門研修1年目

診療姿勢：診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身に付ける。

接 遇：患者および家族への心情に配慮した接遇・診療ができる。

協 調 性：指導医とともに、メディカルスタッフと協調・協力してチーム医療を実践できる。

医療面接・記録：病歴聴取を正しく行い、診断名の想定・鑑別診断を述べるができる。

検 査：診断を確定させるための検査を行うことができる。また、医療事故を予防するための術前検査の必要性を理解できる。

インフォームド・コンセント：外科診療におけるインフォームド・コンセントの意義を理解し、かつこれを適切に運用できる。

治 療：局所麻酔方法、外用療法、病変部の固定法、理学療法の処方を行うことができる。基本的な外傷治療、創傷治療を習得する。

偶 発 症：考えられる偶発症の想定、生じた偶発症に対する緊急的処置を行うことができる。

そ の 他：形成外科的内容に重点をおいた麻酔科や一般外科学・小児外科学、救急医学の各診療科の基礎部分（共通総論）を体得する。

II 専門研修2年目

専門研修1年目研修事項を確実にこなせることを前提に、形成外科の手術を中心とした基本的技能を身につけていく。研修期間中に1) 外傷、2) 先天異常、3) 腫瘍、4) 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、5) 難治性潰瘍、6) 炎症・変性疾患、7) その他 について基本的な手術手技を習得する。

III 専門研修3年目

マイクロサージャリー、クラニオフェイシャルサージャリー、口唇裂、口蓋裂など、より高度な技術を要する手術手技を習得する。また、学会発表・論文作成を行うための基本的知識を身につける。

IV 専門研修4年目

3年目までの研修事項をより深く理解し、自分自身が主体となって治療を進めていけるようにする。さらに、再建外科医として他科医師と協力の上、治療する能力を身につける。また、言語、音声、運動能力などのリハビリテーションを他の医療従事者と協力の上、指示、実施する能力を習得する。

8 問い合わせ先

聖隷浜松病院 人材育成センター E-mail: hm-kenshu@sis.seirei.or.jp
TEL 053-474-2261 FAX 053-474-2262